

柳原地区住民自治協議会だより

す き で す

やなぎはら

2018Mar.15

Vol.36

10周年記念イベント

5月26日(土)開催決定

「アヤメの里」復活大作戦

柳原あやめの会発足



塔鏡形合子蓋と身（模造）

写真提供／長野県埋蔵文化財センター

発行 柳原地区住民自治協議会

We will hold our 10th anniversary ceremony on May 26

柳原地区住民自治協議会は、平成20年5月24日に設立され、今年で10年を迎えます。

10周年を記念し、式典、第1回アヤメまつりを開催いたします。

いつ：5月26日(土) 9:00～16:00

どこで：柳原総合市民センター駐車場、
市立柳原公民館、東部文化ホール

こんなことを予定しています

(変更があるかもしれません…)

記念式典・自治協10年の歩み・昔の写真展

健康チェック・ローリングストックのすすめ

備蓄っキング・東北中吹奏楽部ミニコンサート

ふわふわ遊具

豪華出演者によるステージ発表

魔法使いアキットも来場

とうまりこちゃん誕生!



デザイン/
小林伸幸さん 彩夏さん親子



柳原にはシンボルマーク（やなぎくん）がありますが、10周年を記念して《とうまりこちゃん》が登場します。
名前からもわかるように塔鏡形合子を頭にのせています。

小島・柳原遺跡群とは…

千曲川左岸に形成された広大な自然堤防上に立地する遺跡群を小島・柳原遺跡群といいます。

「塔鏡形合子」は、遺跡群の南端、平安時代の竪穴住居跡から出土。

この一帯は、古くから歴史を積み重ねてきたところで、これまでも重要な発見がありました。市民センターの下では、弥生時代後期から古墳時代前期の周溝墓、柳原体育館のところからは全国的に数少ない弥生時代の盾が出土しています。



小島・柳原遺跡群発掘現場(H28) 写真提供/長野県埋蔵文化財センター



とうまりがたこうす

塔鏡形合子とは…

「合子」とは蓋のついた容器のことで、蓋の頭頂部に仏塔の相輪を模した装飾（つまみ）がついたものを「塔鏡形合子」と呼ぶ。「塔鏡形合子」は、インドや中国では舍利（遺骨）を収める容器として使用。日本では、主に香合（お香の入れ物）として使用されていた。

柳原の歴史について学ぶ年間の講座を予定

第1回『煌めく柳原の古代文化(仮題)』 長野県埋蔵文化財センター
「塔鏡形合子」をはじめ、貴重な出土品を展示。

5月26日(土) 東部文化ホールでの記念式典と合わせ開講。

6月～2月まで毎月開講
講座の詳細は、後日お知らせいたします。

アヤメの里復活大作戦

「アヤメの里」とは

時季になったらどこでもアヤメが咲いている柳原にしたいという活動です。

かつて柳原駅にはたくさんアヤメが咲き、初夏の風物詩となっていました。諸事情でアヤメの群落が絶えそうになりましたが、近くの住民がアヤメをずっと咲かせ続けてきました。その思いを受け止め、さらに地域全体の活動にする「アヤメの里復活大作戦」を展開中です。ぜひ、あなたの家にもアヤメを植えてアヤメの里づくりに参加してください。

「柳原あやめの会」

1月28日にアヤメの里復活の賛同者、住民、地区役員が集まり、これまでのアヤメの里復活に向けての活動を写真などでふりかえりました。その後、アヤメの里復活に向けて、アヤメの管理、アヤメの里のPR、アヤメの観賞会・交流会をするボランティア団体として「柳原あやめの会」が発足しました。いっしょに活動する方を募集しています。



アヤメまつり開催
住民自治協議会の設立10周年に合わせて、△アヤメまつり▽を開催します。5月26日は、盛りだくさんのイベントでお楽しみください。
また、「柳原あやめの会」と住自協



福祉大会 12/2

「なぜ今つどいこの場が必要か」

高齡化社会を元気に生きるコツ」講演会を開催し、67名が参加しました。

地域の人々がつながり、かわり、その輪を広げるには、何をどのように進めたらよいか、くらしを守り支え合い自分らしく生きる地域づくりの実現に向けて、全国コミュニケーションライフサポートセンター理事長池田昌弘氏に講演いただきました。

講師の池田さんからは豊富なデータや事例があげられわかりやすく、日頃の交流こそが地域の支え合い活動を生み出すポイントであり「社会性」の大切さが、健康長寿の秘訣であると。「つながる」ことから「支え合い」が生まれ、日常の「つながり」は地域の『宝』であるなど、大変参考になるお話をいただきました。
今回の講演会が柳原地区でのその『宝物』探しのきっかけとなることを願っています。

認知症サポーター 養成講座

85歳以上の4人に1人が認知症の症状があると言われており、急速に進む高齡化社会では、認知症の患者当人あるいは家族となる可能性を誰しも抱えています。

柳原小学校では4年生と一緒にキャラバンメイトの方の寸劇を見ながら真剣に話を聞いていました。住み慣れた地域で安心して生活できるよう支え合いが必要です。

柳原公民館では福祉推進員の方を中心に講座を開きました。



何か特別なことをするのはなく、認知症の人やその家族を温かく見守り、自分のできる範囲での手助けや理解を示すなど、活動内容は人それぞれです。
受講者のみならず、今日からサポーターです。

介護者の集いマジックショー

2/20

すいせんマジックサークルの方に来ていただき、いつもとちよつと違う時間を過ごし、日頃の介護の疲れを癒しました。その後、参加者同士の交流会を催し悩みや不安などを話し合いました。



*** 写真に見る柳原の今昔 ***



昭和17年12月 柳原青年学校で野菜収穫
村山共同実習地で大瀬先生の指導により、村山の青年学校の皆さんによる大根、白菜などを収穫する。後方に三登山、もとどり山が見える



昭和25年10月 共選所で荷造りしたりんごを貨車に積込む
柳原駅で貨車にりんごの木箱を積込む村山青年達

男の料理教室

今年は4回開催しました。

「上海風塩焼きそば」

「手打ち冷やしうどん」

「誰でも上手に揚がる天ぷら」

「酒のつまみになる肉料理」

参加者の声

●早速成果を披露したところ、家族から好評を得ました。

●手間がかからず簡単にできるメニューで参考になった。

●楽しく料理をすることができた。

来年度も計画していますので、皆さん奮ってご参加ください。



給食センター見学

今年度、村山に新しくできた第四学校給食センターの見学に行ってきました。

柳原小、東北中学校の児童、生徒たちが、この給食センターの給食を食べています。

徹底的に管理されており、とても衛生的でした。

試食させていただいた給食は、とてもやさしい味でおいしかったです。



しめ飾り 12/9

坂本邦夫さんの指導のもと3人一組となり、一つの束を三つに分け、それを「の」の字にねじり上げるコツから教わりました。子供たちもお父さんお母さんに混じり力を合わせ、更に一本のしめ縄にまとめ、最後はヒゲを切って形を整え、紙垂を挟んで完成です。

こうした伝統行事を体験して後世に伝えることの意義を実感し、教室は終了しました。



人権を考える 住民の集い

異文化理解をテーマに「外国人が日本に来てどう思うか」講師にアサノデビットさんを迎え、講演をしていただきました。

私たちのまちも外国人と共生できるまちづくりを目指しています。

このほか、人権教育促進協議会では地域での女性の登用についても研修会を行っています。

各区分研修会が開催されました。

小島区 認知症サポーター講座
中俣区 認知症サポーター講座
布野区 子供にやさしい空間づくり
村山区 認知症サポーター講座
柳原団地区 介護について

防犯講座 1/17

今回、若手のイケメン弁護士がだまし役とだまされ役に扮しての寸劇を見ました。実際にあった特殊詐欺の内容を演じたものでした。寸劇の後、質問の時間もあり、普段はなかなか相談できない弁護士さんとお話できる機会がありました。



内科・呼吸器科・アレルギー科

中島医院

柳原 2222-6 TEL295-0600

統合医療センターすこやか

(癌治療、パーキンソン病、慢性疲労など)

TEL: 217-6077

内科(一般・消化器)・外科



医療法人

富竹クリニック

TOMITAKE CLINIC

各種健診／予防接種／胃カメラ

長野市富竹1628-2(富竹の里となり) ☎026-295-6643



にいざわ皮ふ科

長野市柳原 2221-6

TEL.026-255-7238/FAX.026-255-7335



「あたたかい心、やさしい手」「24時間、365日」安心をサポートします。



ケアライフ柳原第2(住宅型有料老人ホーム)

長野市 柳原2223番地1

TEL026-255-7716



ケアライフ柳原(介護付き有料老人ホーム)

長野市 小島785番地

TEL026-236-8200

お気軽にお問い合わせ下さい



EAP介護サービス株式会社

編集後記

いろんな人とたくさんの夢や想いを語り合って一人ひとりの小さな力をつなげて、くっつけていきたいです。[あ]



柳原地区住民自治協議会

長野市小島 804-5 柳原総合市民センター内 TEL・FAX217-2365

いきいき わがまち やなぎはら

検索

E-mail: yanagihara-jiti2365@drive.ocn.ne.jp

お気軽にお立ち寄りください。

